

皆 様

中村正 学会理事長から、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻について 理事長声明が2022年3月16日(水)に出されました。

人間的に生きることを支援するための「対人援助学の創造」をめざす私たちは、ウクライナに対するロシア軍による一方的な軍事的侵略を直ちに中止することを強く要求します。プーチン大統領が指導するロシア軍の行動は、世界の平和と安全を脅かし、国際秩序の根幹を揺るがすものです。断じて許すことはできません。ロシア軍はウクライナから直ちに撤退すべきです。 対人援助学会理事長 中村正

そこで、学会としても、以下の企画を実施いたします。参加は学会員限定です。対人援助職の役割の現代的意義も含めともに考え、発信していきたいと思えます。

◆対人援助職者は戦争とどう向き合うのか?◆

～まずは気持ちを持ち寄る会 緊急開催! 対人援助学会 研究会 第24回(通算48回)

ロシアのウクライナ侵攻のニュースが毎日続いています。  
一発の爆弾で住民の生活が瞬時に激変する(死も含め)姿を目にしたとき、  
支援者は何を見て、何を思い、何をすべきなのでしょう?

国家資格 社会福祉士の倫理綱領に

「平和を擁護する」ことが明記されていますが、  
戦争の現実には重すぎるがゆえに、眼を背けたい、  
どこか遠い国の話だと感じてしまうこともあるかもしれません。

まずは、素朴に今思うことを語り合ってみませんか?

はじめの部分で、2019年に  
ウクライナのキエフやチェルノブイリ原発にも足を運んだ  
村本邦子(対人援助学会副理事長、立命館大学)が  
その時の体験と今の思いを共有した後、  
参加者のみなさんが報道等から感じていることや思うことなど  
自由に話す機会を持ちたいと思えます。

開催方式: オンライン Zoom を用います。基本的にカメラをオンをお願いします。  
録画、録音はお控えください。

日時: 2022年4月15日(金) 20時~22時

参加対象: 対人援助学会 会員

申込方法: 事前予約 メールにて受け付けます。

①名前、②ご所属、③電話番号をご記入の上 千葉 [chibachi@f2.dion.ne.jp](mailto:chibachi@f2.dion.ne.jp) まで、参加希望を伝えてください。  
Zoomの案内を送ります。

定員：20名程度

主催：対人援助学会

研究委員会/研修・交流委員会 共同開催

連絡先：

千葉晃央（京都光華女子大学）

[chibachi@f2.dion.ne.jp](mailto:chibachi@f2.dion.ne.jp)

090-9277-5049